

高等学校 令和5年度（1年次用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 8組

使用教科書：（「新編言語文化」（東京書籍）、「新編言語文化学習課題ノート」（東京書籍）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】新たな知識を収集することができる。

【思考力、判断力、表現力等】疑問や意見について、理由を入れて発表することができる。

【学びに向かう力、人間性等】支援を受けることで、学習に取り組むことができる。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・文章を読み、内容を的確にとらえることができる。 ・我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	・話題について自分の考えをもち、意見を述べることができる。	・支援を受けることで、文章や言葉について学ぶことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	1 古典入門 古文の世界へ「古典に親しむ」 古典と現代文の違いについて確認する。	・「新編言語文化」（東京書籍） ・「新編言語文化学習課題ノート」（東京書籍） ・一人1台端末の活用		○		【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・古典特有の表現を意識して読むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・支援を受けることで、古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○			○	○		1
	1 古典入門 古文の世界へ「児のそら寝」 歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。	・「新編言語文化」（東京書籍） ・「新編言語文化学習課題ノート」（東京書籍） ・一人1台端末の活用		○	○		【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・古典特有の表現を意識して読むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・支援を受けることで、説話のおもしろさを感じ取ろうとしている。	○	○	○
定期考査			○	○			○	○		1
2 学期	4 小説2 葛藤する心「羅生門」 登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取る。	・「新編言語文化」（東京書籍） ・「新編言語文化学習課題ノート」（東京書籍） ・一人1台端末の活用		○	○	【知識・技能】 ・言葉の働きを理解できる。 ・主な常用漢字の読み書きができる。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類や展開を踏まえて読むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・支援を受けることで、新しい視点をとらえようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○	○		1
	4 小説2 葛藤する心「羅生門」 言語活動「元になった古典作品と比べてみよう」 登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 古典を元にして作られた作品と、元の作品を読み比べ、理解を深める。	・「新編言語文化」（東京書籍） ・「新編言語文化学習課題ノート」（東京書籍） ・一人1台端末の活用		○	○	【知識・技能】 ・言葉の働きを理解できる。 ・主な常用漢字の読み書きができる。 【思考・判断・表現】 ・文章の背景を踏まえて読むことで、内容の理解を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・支援を受けることで、それぞれの作品の違いをとらえようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		○	○		1	
	1 漢文入門 漢文に親しむ「訓読の基本」 漢文の特色を知り、格言に親しむ。	・「新編言語文化」（東京書籍） ・「新編言語文化学習課題ノート」（東京書籍） ・一人1台端末の活用		○	○	【知識・技能】 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・漢文の構成を意識して読むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・支援を受けることで、漢文の特色や訓読のきまりを理解しようとしている。	○	○	○	3
	1 漢文入門 漢文に親しむ「秋声賦」	・「新編言語文化」（東京書籍） ・「新編言語文化学習課題ノート」（東京書籍） ・一人1台端末の活用		○	○	【知識・技能】 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解できる。				

<p>「取手成語」 故事成語の元になった話を読むこと を通して、漢文の読解に慣れ親し む。</p>	<p>・「新編言語文化百題題ノ一 ト」(東京書籍) ・一人1台端末の活用</p>	○	○	<p>・我が国の文化と外国の文化との関係につ いて理解できる。 【思考・判断・表現】 ・漢文の構成を意識して読むことができ る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・支援を受けることで、漢文の特色や訓読 のきまりを理解しようとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査		○	○		○	○		1
								合計 39